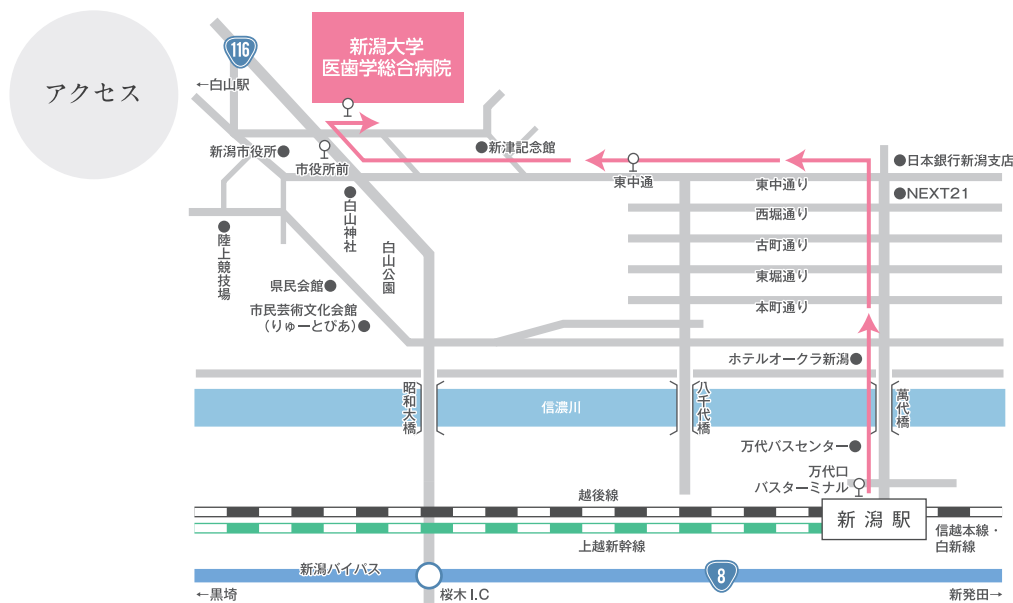


新潟大学医歯学総合病院

NIIGATA UNIVERSITY MEDICAL&DENTAL HOSPITAL

看護部のご案内 2024

共に考え、
学び成長
する場に



新潟大学医歯学総合病院

〒951-8520 新潟市中央区旭町通1番町754番地
問い合わせ:看護部事務室 TEL 025(227)2515(直通)
FAX 025(227)0724

看護部ホームページアドレス
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/nrs/welcome.html>



リサイクル適性①
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



新潟大学
医歯学総合病院の
理念・目標

理念

生命と個人の尊厳を重んじ、
質の高い医療を提供するとともに、
人間性豊かな医療人を育成します。

目標

- ・患者本位の安全で安心できる医療を提供します。
- ・豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人を育成します。
- ・研究成果を反映した高度で先進的な医療を実践します。
- ・地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します。
- ・病院運営の適正化と効率化を促進します。

看護部の理念・目標

理念

患者さまひとりひとりを尊重し、
心をこめて、質の高い看護を提供します。

目標

- ・医療チームの一員として他部門と連携し、患者さまを中心とした、安全で安心の看護を提供します。
- ・大学病院の役割を認識し、社会のニーズに応じた看護を提供します。
- ・専門職としての知識、技術を高めるとともに、人間性豊かな看護職をめざし、自己研鑽に努めます。
- ・看護実践をととして研究に取り組み看護の発展に努めます。

Message



病院長 富田 善彦

私は一患者として短期間ですが入院したことがあります。その当時にはある程度医学知識もあったことから、「まあ、大丈夫だろう」とは思っていましたが、夜間、痛みが強くなったときには、限りなく不安になりました。ためらいながらナースコールを押すと、すぐに看護師さんが来てくれて、やさしく状態を聞き取り、手際よく鎮痛剤の投与をしてくれました。本当に安心しましたし、心強くも思いました。患者さんにとって、最も身近な「頼みの綱」は看護師さんなのですね。30年以上たっても覚えています。本当に忘れられません。

我々の病院は最新の医療環境を備える特定機能病院で、数々のスキル、資格を取得できるトレーニングコース、キャリアパスを用意しておりますが、それ以上に大切な「心のこもった、やさしい医療」を行える広い意味でのメディカルスタッフ（医療人）を育てることを大きな目的としています。どうでしょう、私たちと一緒に仕事をしてみませんか？

当院は、高度先進医療の提供と人間性豊かな医療人を育成し、地域・社会への貢献を目指しています。「患者様ひとりひとりを尊重し、心をこめて、質の高い看護を提供します。」を看護部の理念とし、患者さん、ご家族に寄り添い、確かな実践力と豊かな人間性を備えた看護の提供に取り組んでいます。そして何より、患者さん、ご家族の人生観・思いを尊重し、その人らしさを守ることを大切にしています。

看護部では人間性豊かな看護師の育成を目指し、看護職キャリア開発システム RICCA(六花)を構築してきました。看護職員それぞれが将来の看護師像を描き、いきいきと主体的に看護実践能力の向上を図ることを支援するシステムです。キャリアプランに合わせた教育プログラムや看護提供体制を整え、「ともに学び・ともに育ちあう」ことを大切に、自律した看護師の育成につなげています。

新潟大学医歯学総合病院では魅力ある職場づくりを推進しています。自らが描く看護師像を実現するため、新潟大学医歯学総合病院の医療チームの一員としてともに成長していきましょう。



看護部長 白砂 由美子

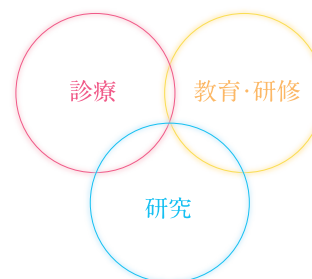
病院の理念のもと、「医療」と「生活」の両方の視点を持ち、
患者さんを支援しています。



看護師は昼夜問わず、患者さんの身近にいる医療専門職として、患者さんの状態の変化を察知し、必要な看護を提供しています。また、尊厳をもってその人らしく生活できるよう、生活者としての患者さんの生活の質に着目し、支援をしています。高度急性期病院・特定機能病院の一員として、看護を実践する中で、看護師、他の医療職と共に学び、ともに成長しています。

大学病院の使命とは

安全で質の高い医療を提供するため、医療人育成のための教育機関、新しい医療技術の研究・開発を行う研究機関、高度の医療を提供する地域の中核的医療機関として、重要な役割を果たしています。



大学病院で医療チームの一員として
先進医療にかかわり、成長する

当院は、地域災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、難病医療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、新潟県ドクターヘリ基地病院など、地域に根ざした医療を提供しています。医師、歯科医師、薬剤師、療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種と協働し、新潟大学医歯学総合病院ならではの医療を提供する中で、看護師という専門職としての役割を発揮し、経験し、成長していくことを目指しています。

新潟大学医歯学総合病院のパートナー制

パートナー制とはパートナーとなった看護師が相手の立場を尊重かつ対等なパートナーとして協働し、相互に補完し合いながら看護を実践し、その成果と責任を共有する看護体制です。この看護体制で患者様に安全、安心で質の高い看護を提供するとともに、パートナー同士がお互いを信じ思いやり、相互研鑽で、看護実践能力の向上を目指します。また、労働環境の改善、ワークライフ・バランス(WLB)の向上を進めています。

高度急性期病院・特定機能病院の一員として先進医療に携わる

当院は、特定機能病院で①高度の医療の提供、②高度医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院、③高度な先進医療を提供する病院です。また、ICU、高次救命災害治療センターを有する高度急性期病院でもあります。私たち看護師は、高度急性期病院、先進医療に携わる特定機能病院の一員として、急性期だけでなく、慢性期、終末期など様々な段階の患者さんへの医療に携わっています。その人らしく生活できるよう、入院中だけでなく、退院後の生活を見据えた看護を実践しています。

ジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者、
看護職員それぞれの看護師像、キャリア発達を進める

総合病院であることを活かし、ローテーションを行いながら、広い知識、技術を習得します。その中で、高度なジェネラリスト、特定看護師、認定看護師、専門看護師など看護職員それぞれが描くビジョンを達成できる仕組みがあります。看護部では、個々の看護職員のビジョンを尊重し、キャリア発達を支援します。



職種を超えたつながり

医師・歯科医師のほかに次のような職種と協働しています。

薬剤師



各病棟に担当薬剤師が配置され、薬歴管理、副作用チェックなどを行なっています。服薬指導では情報を共有しながら、その患者にあわせた段階的な指導をしています。

管理栄養士



患者の症状に応じた食事について相談をしています。行事ごとの食事、誕生日の祝膳の他、病棟バイキングなど楽しい企画もあり、協力しながら実施しています。

MSW



MSWや医療相談員、事務担当者と協働し、入院前から退院後までのシームレスな支援と総合的な入退院支援を行っています。

PT・OT・ST



医師、PT、OT、ST、MSW等、他職種でカンファレンスを実施し、退院後の生活の質を第一に考えたリハビリテーションを協働で行なっています。

臨床工学技士



心電図計やシリンジポンプ、人工呼吸器などの医療機器の安全整備がセンター化されMEが管理しているので、安心してベッドサイドで使うことができます。



様々な領域に広がる活躍

特定認定看護師

(慢性呼吸器疾患看護認定看護師)



医師や病棟看護師と連携し
QOL改善に向けた看護を

呼吸器疾患看護特定認定看護師として実践を始め、医師の協力を得ながら気管カニューレの交換を行っています。臨床推論を基に適切なタイミングで患者の状態にあった安全な専門性の高い連続した医療を提供できるよう、また、医師や病棟看護師と協働し患者のQOL改善に向けた看護実践ができるよう日々頑張っています。

他にもこのような
専門看護師・認定看護師がいます。

特定看護師



専門的な知識をもとに
タイムリーなケアを提供

外科病棟で勤務しながら、特定看護師として活動しています。直接動脈穿刺法による採血を中心に、患者にタイムリーなケアを提供できることにとてもやりがいを感じています。今後は医師と協力して活動の場・実践する行為区分を増やし、患者により良いケアを提供できるよう努力していこうと思います。

特定認定看護師

(集中ケア認定看護師)



チーム医療のキーパーソンとして
患者中心の医療を推進

ICUでクリティカルケア認定看護師として、特定行為実践に取り組んでいます。患者の意向に沿った医療の実現にむけ、特定行為を用いて患者と向き合うことで、看護の奥深さやその広がりを実感しています。チーム医療のキーパーソンとして、様々な人々との対話を大切にし、患者中心の医療の更なる推進にチャレンジします。

- 認定看護管理者
- 母性看護専門看護師
- がん化学療法看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 慢性疾患看護専門看護師
- 新生児集中ケア認定看護師
- がん看護専門看護師

がん看護専門看護師



患者さんの生活や
思いを尊重した支援

入院中のがん患者さんの心身のサポートを行いながら、各々の困りごとに合わせた支援が継続して行えるよう、他の専門・認定看護師と協働しながら院内のがん看護の質向上に努めています。また、リンパ浮腫外来を担当し、浮腫と付き合いながら日常生活を送る患者さんのサポートを続けています。

特定看護師
(皮膚・排泄ケア認定看護師)



多職種が
チームとなり連携

褥瘡や慢性創傷・人工肛門・失禁ケアが必要な患者さんに対して、多職種がチームとなり連携し、創傷治癒促進と傷をつくらない予防的スキンケアを実践しています。特定行為研修を修了した認定看護師として、病態を把握し患者さんが安全で安心できる療養生活を継続できるよう支援しています。

フライトナース



シームレスな
救急医療・看護を提供

ドクターヘリではフライトドクターとともに、救急隊・消防隊など多くの職種と協働して緊急度の高い患者さんへの早期治療介入と医療機関への搬送を行います。多くの知識と技術、さらには精神力やコミュニケーション能力も求められます。さまざまな経験と自己研鑽を重ねることで、やりがいと成長を実感しています。

ジェネラリスト



患者さん、ご家族と
信頼関係を築いて
より良い看護を

看護師としての知識や技術を深め、専門性をより高めながら実践につなげています。患者さんやご家族に寄り添い、信頼関係を築き、多職種と連携しながら、より良い看護が提供できるよう日々心がけています。

栄養サポートチーム
専門療法士

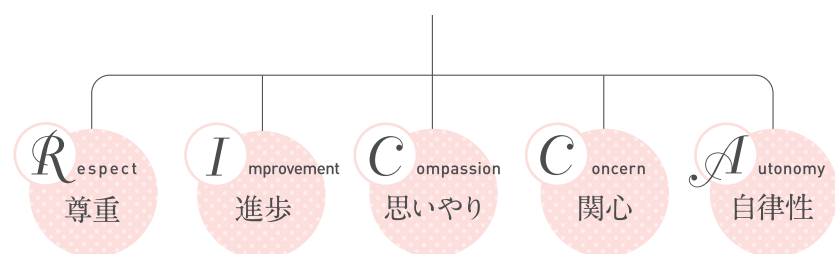


看護師の視点で
チーム医療に参画

NST専門療法士として病棟では、患者様の食事摂取状況や検査結果から栄養不良の兆候を見つけ、嗜好を考慮し多職種で連携しながら栄養状態の回復に導けるよう活動しています。院内のNSTとしては看護師の目線で患者様の情報を集め、ミーティングや回診に参加し、栄養状態が回復できるよう活動しています。

キャリア開発システム

新潟大学医歯学総合病院では、みなさんが安心して成長できるよう、独自のキャリア開発システム「RICCA」を運用しています。



看護師には、人として、専門職として、自己実現をめざし、人間性豊かな看護師として成長することが求められます。キャリア開発システム(RICCA)は、「患者さまひとりひとりを尊重し、心をこめて、質の高い看護を提供する」という看護部理念に基づき、キャリア開発支援研修をはじめ、体験事例の肯定的フィードバック、目標管理の活用など、日常業務の中で看護職員が生き生きと主体的に看護実践能力の向上を図ることを支援します。

キャリア開発ラダーの基本構成		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
定 義	看護の核となる実践能力	●基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	●標準的な看護計画に基づいて、自立して看護を実践する	●ケアの受け手に合う個別な看護を実践する	●幅広い視野で予測的判断をもち、看護を実践する	●より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるために創造的に看護を実践する
	組織的役割遂行能力	●社会人・組織人としての役割を理解し、助言を受けながら、チーム内で任された役割を果たす	●組織の一員として役割を理解し、部署の目標達成に向けて、任された役割を果たす	●所属する職場で、組織的役割を遂行できる ●部署では、看護チーム全体の状況を捉えて、チームリーダーやコーディネーターの役割、係リーダーの役割を果たす	●所属する職場で、専門的な能力やほかの様々な能力を必要とする役割、または指導的役割を果たす ●看護単位の課題の明確化ができる	●所属を超え、看護部、病院から求められる役割を遂行する ●看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる
	自己教育・研究能力	●助言により自己の課題に気づき、自主的な学習に取り組む	●自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開するとともに、助言を受けながら新人看護師や看護学生に対し、指導を行う	●自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、経験の浅い看護師や看護学生に対し、個別性に合わせた指導を行う	●自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に自己教育活動に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる	●専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開し、専門職としてスタッフの能力開発に取り組む
レベル達成後の役割・処遇		●1年目サポーター (看護師経験1年以上の者)	●2年目サポーター (看護師経験2年以上の者)	●臨地実習指導者 ●エルダー ●チームリーダー	●副看護師長候補 (看護師経験5年以上の者) ●リソースナース ●教育担当者 ●看護部委員会メンバー ●病院医療チームメンバー ●資格認定や修了証につながる研修受講 (特定行為研修、臨地実習指導者養成研修や各種コーディネーター養成研修、栄養サポートチーム専門療養士等) 等	●看護管理研修受講 ●認定看護師教育課程受講 等

専門領域・テーマ別研修

院内認定看護師養成コース

●感染管理 ●スキンケア

テーマ別選択研修

●糖尿病ケア ●がん看護
●呼吸ケア ●感染管理
●スキンケア ●創傷管理

ラダー別研修

【看護の核となる実践力】

●倫理研修Ⅱ・Ⅲ
●医療安全管理Ⅲ
●容態変化対応コースⅡ・Ⅲ
●コミュニケーションⅤ・Ⅵ

【組織的役割遂行能力】

●課題解決実践
●組織管理

【自己教育・研究能力】

●ケースレポートⅡ
●キャリアデザイン
●学習会企画と運営

基礎研修

【看護の核となる実践力】

●看護過程Ⅰ～Ⅲ
●コミュニケーションⅠ～Ⅳ
●倫理研修Ⅰ ●医療安全管理Ⅰ・Ⅱ
●感染管理Ⅰ・Ⅱ ●褥瘡ケアⅠ・Ⅱ
●口腔ケア ●接遇
●臨床技術トレーニングプログラム
●静脈注射 ●容態変化対応コースⅠ

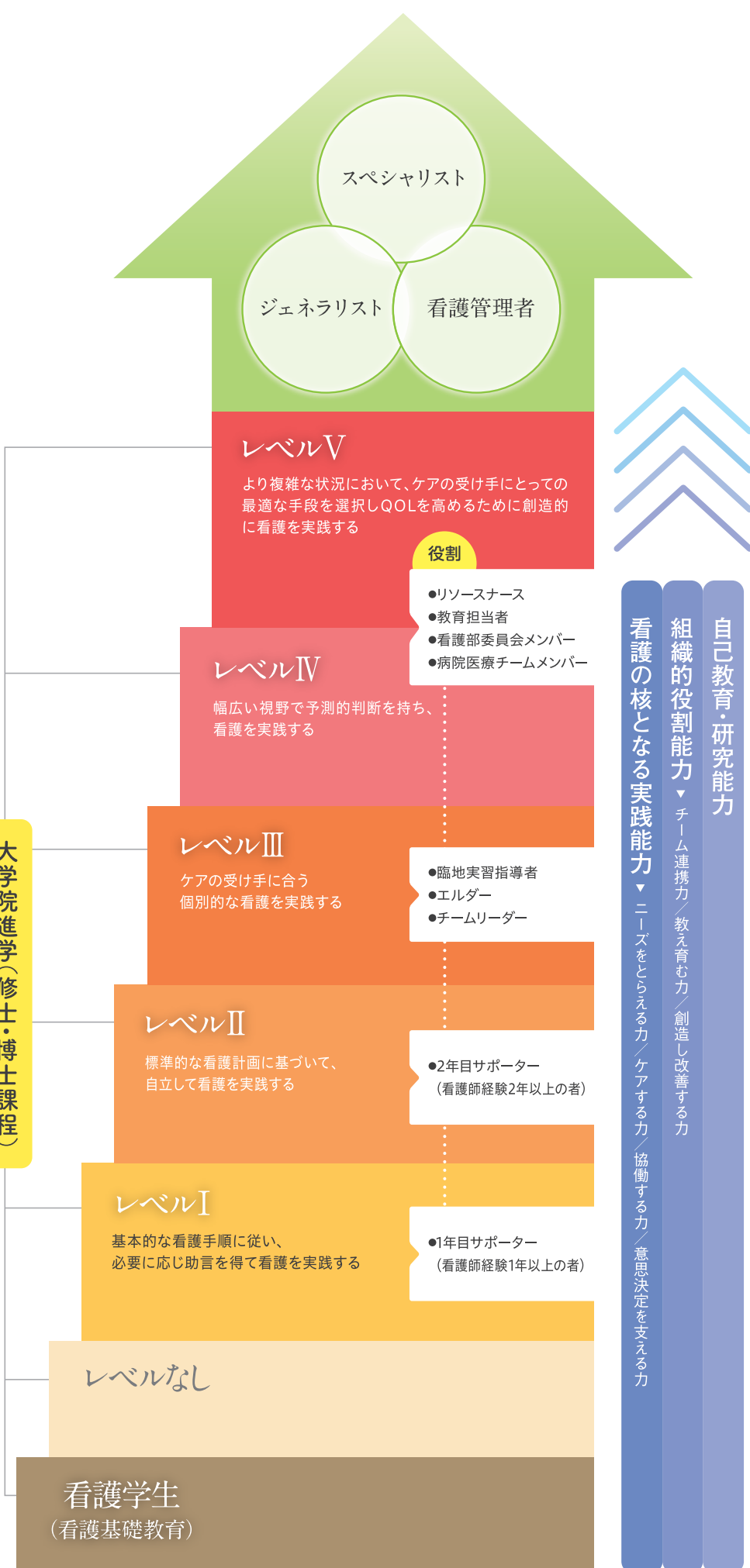
【組織的役割遂行能力】

●病院組織と看護部

【自己教育・研究能力】

●セルフモニタリングプログラム
●ケースレポートⅠ
●キャリアデザイン

大学院進学(修士・博士課程)



年間計画・教育体制

採用から2年をかけて、独自の基礎研修プログラムでみなさんの成長を支援します。
教育担当スタッフやパートナーシップ体制も充実しており、みなさんが迷うことの無いよう、サポートを行っています。

1年目



コミュニケーションⅡ



BLS



2年目



教育環境

新潟大学医歯学総合病院では、みなさんの成長をしっかりとサポートし、夢を実現させるための、充実した教育環境が整っています。



充実した教育環境が整っています

トレーニングセンター

新潟医療育成センター内の「シミュレーション」内看護職員のシミュレーショントレーニングを実施するため、コロナ禍でも研修者を分散させ、オンラインアセンター内にもトレーニングルームがあり、スタッフ習会や基礎看護技術などのトレーニングの場として活用しています。

室」では、本院の看護職員だけでなく施設外の県民から、このほかにセミナー室も完備されています。看護職キャリア開発コが個別に指導を行っています。さらに部署の学でも活用しています。



e-learningの活用

e-learningで最新の知識を学ぶことができます。また、看護基準・手順も確認できます。電子カルテで閲覧が可能です。休憩室、看護部図書室で、いつでも利用することができます。コロナ禍の感染予防対策として研修内でも活用しています。

新人看護職員育成・支援体制



生の声をお届けします！

先輩 Real Voice

Real Voice
01

東9階病棟

▶新潟県立看護大学卒業



脳神経外科で勤務しています。疾患や看護ケアなどわからないこと、慣れないことが多く初めは不安でいっぱいでした。しかし、研修や勉強会を通じて知識や技術を学び、少しずつできることも増えてきました。また、介助を要していた患者さんが回復し退院していく姿を見ると、日々の看護の力ややりがいとても感じています。

Real Voice
02

集中治療部

▶新潟大学卒業



集中治療部では、自分の知識や技術が追いつかないことばかりですが、教育係の方々をはじめ、部署の先輩方が常にサポートしてくださる環境のおかげで、1年目の私でも頑張ることができています。回復される方から終末期となる方まで様々な患者さんに携わり、たくさんのことを学んでいます。

Real Voice
03

西7階病棟

▶新潟医療福祉大学卒業



整形外科病棟で勤務しています。入職前は不安なことばかりでしたが、部署の先輩方から日々丁寧な指導をいただき、少しずつ成長を感じることができています。研修等で学ぶ機会もたくさんあるため、今後も経験を積みより良い看護を提供していきたいと思っています。

Real Voice
04

東3階病棟

▶看護リハビリ新潟保健医療専門学校卒業



私は腫瘍内科/消化器外科/口腔外科/血液内科の混合病棟で勤務しています。入退院も多く、退院支援にも力を入れています。日々多種多様な疾患に対する看護や学びを深めることができ、多くの経験をすることができています。また、部署の先輩方やキャリアコアセンターの方が技術面や精神面などもフォローしてくださっており、そのため少しずつですが、成長を感じることができています。

Real Voice
05

東11階病棟

▶新潟青陵大学卒業



消化器・呼吸器内科領域で勤務しています。患者様の変化に配慮することや、気持ちに寄り添う看護を心掛けています。また、わからないことは先輩に聞き、自己研鑽にも励むように心がけています。少しずつできることを増やし、成長できるよう頑張りたいと思っています。

Real Voice
06

手術部

▶Uターン



私は、卒後、他院で勤務し出産を機に退職しました。子どもの小学校入学のタイミングで地元である新潟へ戻り、再就職しました。現在、手術部で勤務しています。オリエンテーションや勉強会が充実しており、計画的なステップアップが図られているため、基礎を学びながら勤務することができています。

ワークライフバランス

より良い仕事を行うためには、私生活との調和が大切です。

新潟大学医歯学総合病院では、さまざまな境遇のスタッフが充実した毎日を送っており、働きやすい環境が整っています。

01



受け持ち患者さんの点滴作り

02



パートナーである先輩看護師と情報を共有し、いざ、患者さんのところへ

03



今日は午後から、研修。同期のメンバーとグループディスカッションをしました。

新人看護師の
ある1日を
紹介します。

／パパ・ママ／ 看護管理者

私たちは、それぞれ整形外科病棟と循環器・呼吸器内科病棟で看護管理者として夜勤を含めたフルタイムで働いています。協力しあい、家事や育児を行い、看護管理者としても二人で刺激しあいながらキャリアを重ねています。



大学院生

長期間、集中治療に携わる中で、臨床経験だけでは得られない高度な知識や技術、調整力などを身に着けたいと考え、働きながら大学院に通っています。職場のみなさんから支援を受けながら、仕事と両立することができており、学ぶ楽しさを実感しています。療養生活を支援できるよう、この学びを生かして看護を実践しています。

ON



POINT!
仕事と学業を
両立！



OFF

ユニフォームの色で シフトを見える化！

ワークライフバランスの取り組みとして、勤務帯によりユニフォームの色を変えました。ユニフォームの色を変えることで、勤務時間帯を意識した働き方を目指しています。

夜勤者
ユニフォーム

日勤者
ユニフォーム

